

日本が武力行使しない理由

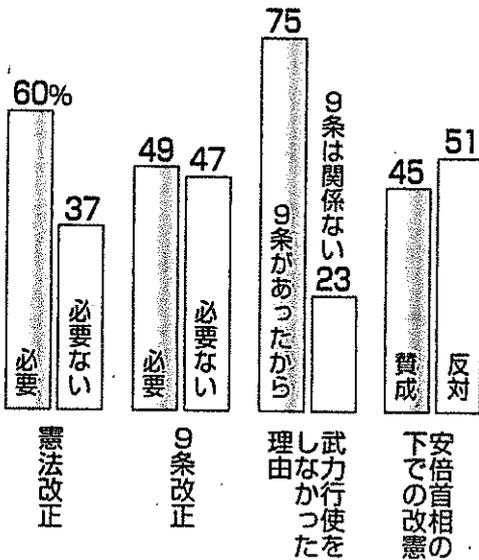
「9条あったから」75%

世論調査 改正必要性は拮抗

憲法 70年 施行

共同通信社は29日、憲法施行70年を前に郵送方式で実施した世論調査の結果をまとめた。日本が戦後、海外で武力行使しなかった理由について、戦争放棄や戦力の不保持を定めた「憲法9条があったからだ」とする回答は75%に

世論調査の主な結果



※無回答を省略しているため合計は100%にならない

上った。9条の存在とは「関係ない」は23%だった。9条改正を巡っては必要49%、必要ない47%で拮抗した。安倍

普三首相の下での改憲に51%が反対し、賛成は45%だった。【5面に関連記事】北朝鮮情勢の緊迫化などを

踏まえ、9条改正の必要性では賛否が二分する一方、戦後9条が果たしてきた役割は国民に浸透している現状が明確になった。改憲を「必要」「どちらかといえば必要」とする改憲派は計60%。改憲は必要ないとする護憲派は「どちらかといえば」を含めて37%だった。調査は5月3日で憲法施行から70年となることから3〜4月に18歳以上の男女3千人を対象に実施した。改憲派に理由を尋ねたところ、トップは「憲法の条文や内容が時代に合わなくなっているから」で66%。これに「新たな権利や義務などを盛り込む必要があるから」が22%で続いた。「米国に押し付けられた憲法だから」制定以来、1度も改正されていないから」はそれぞれ5%だった。【注】小数点1位を四捨五入した。